

菱の実



佐賀大学理工学部同窓会会報 第21号

発行日 2019年7月1日

発行 菱実会

佐賀市本庄町1 佐賀大学内

TEL 0952-23-1253

FAX 0952-25-5700

E-mail dousoukai@sadai.jp

ホームページ <http://sadai.jp/alumni/>

編集 田中 高行

新たな時代を迎えるに当たって

今、グローバル化に伴う競争激化、及びAI・ロボット技術が発達した Society5.0 社会の到来に伴って、日本の経済・社会システムがこれまでにない速度で大きく変わろうとしています。人間社会の基盤は、教育の在り方によって大きく左右されます。そのため、政府は小学校の教育時から、主体的に考え、自ら決定し、そして未知の世界に挑戦していく心(力)を育てる教育に変更しようとしています。また、我が国はこれまで人類が経験したことのない「人生100年時代」を迎えようとしています。

そういう時代の流れの中で、佐賀大学理工学部は、今年(令和元年)度の入学生から1学科12コース制に改組されました。これは、凄まじく変化する社会に対応できる知識・スキルを広く身に付けるために、分野の好き嫌いによる得手・不得手を無くすのが一つの狙いとなっているようです。学生はより広く学びながら、自分が何をすべきかを考え、コースを決定することになります。当然、皆が好きなコースを選べるわけではありませんので、入学してからの授業成績は重要になり、今までにない競争も生まれます。大学を構成する教職員が、真っ白な状態の学生をうまく誘導できる環境を構築できるか不安も多いと思いますが、大学全体の健闘をお祈りするばかりです。

これから社会を支える子ども達と共に、新しい社会に必要な知識・スキルを学び続ける必要を感じている同窓生も多いと思います。理工学部同窓会では、少しでも役立ちたく、同窓生に向けたeラーニングシステムの構築を進めております(最終ページ参照)。是非、人生に関わる様々のことを考える一つの材料にしてください、同窓生の皆様がこれからの社会システム構築に貢献していただけることを期待したいと思います。



菱実会会長
穂屋下 茂(機49)

第4回菱実会賞の募集

菱実会賞は、社会活動、課外活動、学術研究活動などの活動において成果や評価が顕著である理工学部在学学生を表彰するための理工学部同窓会(菱実会)の取り組みです。就職活動にも役立つことと思います。より多くの申請をお待ちしています。

対象：佐賀大学理工学部在学学生1～4年生

募集期間：2019年5月7日(火)～10月31日(木)

詳しくは、HPをご覧ください

<http://sadai.jp/alumni/ryoujitsukai/ryoujitsukaisyou/>



佐賀大学理工学部同窓会 菱実会

第21回 総会・記念講演・懇親会のご案内

1. 日 時 2019年9月7日(土) 受付 14時30分から

2. 場 所 佐嘉神社記念館 佐賀市松原2丁目10-43 (TEL 0952-24-4122)

3. 日 程

- (1) 受 付 14:30～
- (2) 理工学部同窓会「総会」 15:30～16:10
- (3) 記念講演 16:30～17:40

演題 吉野ヶ里遺跡のこれまでとこれから

講師 大塚清吾氏
(フォトジャーナリスト)

<http://www.saga-els.com/otsuka/>



高島氏と吉野ヶ里を語る大塚氏

※集合写真撮影：17:45 参加者全員（懇親会会場前方にて）

- (4) 懇親会 18:00～20:00

アトラクション ビンゴゲーム

4. 会 費 3,000円（当日徴収します）

菱実会総会・懇親会への出欠については、郵便でもお尋ねしておりますが、次のコンタクトフォームからも回答することができます。総会・懇親会への出欠、メッセージ（近況や同窓会への激励等）、及び氏名等の必須事項をお書きの上、送信してください。



<http://sadai.jp/alumni/ryoujitsukai-20190907/>

佐賀大学同窓会事務局：E-mail dousoukai@sadai.jp TEL：(0952)23-1253 FAX：(0952)25-5700

学部長のあいさつ

理工学部長 渡 孝則 教授

拝啓 近年、気候の変化が大きくなっていますが、同窓会の皆様におかれましては
お元気にお過ごしのことと存じます。

大学を取り巻く環境も気候同様に大きく変化し、これに応じるため平成31年4月に
理工学部7学科および工学系研究科博士前期課程8専攻は、理工学部理工学科、理工
学研究科修士課程理工学専攻とそれぞれ1学科、1専攻に改組しました。昨年度の本
誌で概要をご説明していただきましたので、本稿では現状についてご紹介します。理工学部
では、特別入試により2年次の進級分野が決まっている119名、一般入試で2年次進級時に分野が決ま
る401名、留学生を6名受入れ、総計526名の学生が入学しました。新入生全員が座れる教室がありません
ので、オリエンテーションは5つの教室をインターネットでつなぎ説明の映像及び音声を提供しまし
た。また、従来は学科ごとに宿泊研修などを行っていましたが、学生は専門コースに所属していません
ので実施しませんでした。新入生がスムーズな大学生活を送れるように、来年度は研修会や1 Dayイン
ターンシップなどを企画したいと考えています。学生の勉学指導や生活アドバイスについては、教員が
チューターとしてコミュニケーションを取りながら行っています。本年度からすべての学生がPC必携
となりましたが、予備PCを準備したためこれまで大きな問題は起こっていません。これも初年次教育
委員会を始めとする教職員のお陰と感謝申し上げます。改組は学年進行ですので、2年生から4年生ま
では旧カリキュラムで進みます。この学生達への配慮も忘れない様にしなければと気を引き締めてい
ます。

佐賀大学に事務室を構える一般企業が増加し、昨年度末にはベトナムのIT企業Citynow Asia社の入居
が決まり、現在部屋の整備中です。この企業を通じ、学生の国際化や情報教育、共同研究などを進めて
まいります。

同窓生の皆様から、叱咤激励を受け、またアドバイスを賜り、“卒業して良かった学部”日本一を目
指し頑張りますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

敬具



各部門長のあいさつ

数理部門

部門長 半田 賢司 教授

同窓生・同窓会の皆様には日頃よりご支援下さり、心より御礼申し上げます。この
4月、数理科学科は理工学科数理サイエンスコースへと変わりました。大学院に関し
ては、数理科学専攻から理工学専攻数学コースとなり、一部の数学教員は同専攻デー
タサイエンスコースにも配置されています。昨年の会報において数理科学科主任は
「本学科には現在10名の教員が所属しており、理工学部の学科の中では最小の教員数」
と記載しておりましたが、その後、昨年度末までに教員2名が転出したため、教員数
8名という限界とも言える値（実際、数理科学科であった当時、設置基準上必要な教員数は8名とされ
ていました。）にまで達しました。そのような状況の中、各教員が新たな教育プログラム遂行と研究に
支障をきたさないようにと懸命に取り組んでいます。

お陰様で現時点では、新入生の中に当コース希望者が想定よりも多くいるとの観測もあります。一方
で2年生以上は数理科学科学生がこれまでと同等の教育プログラムを受けています。引き続き同窓会
の皆様のご支援を賜りたく、何卒よろしくお願い申し上げます。



情報部門

部門長 岡崎 泰久 教授

同窓会の皆様にはお世話になっております。情報社会の中核を担う情報システムは、ますます高度化しています。そうした現代の高度な情報システムを支える優れた人材を育成するために、2019年度入学生より知能情報システム学科は、知能情報システム工学コースと情報ネットワーク工学コースの、2つのコースに生まれ変わりました。新しいカリキュラムのもとでも、これまで同様、地域及び社会の幅広い分野で活躍できる人材の養成に努めています。



2018年度（平成30年度）は、知能情報システム学科62名の卒業生のうち、28名が企業に就職（就職率97%）、26名が大学院に進学しています。知能情報システム学専攻の修了生は21名全員が企業に就職しており（就職率100%）、学部・大学院ともに高い就職率を維持しています。多くの卒業生が、専門分野を生かし情報システムに関係する仕事で活躍しています。今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

化学部門

部門長 冨永 昌人 教授

平成30年度は87名の卒業生を送り出しました。おかげさまで100%に近い就職・進学率を維持できました。これも同窓生・同窓会の皆様の継続的なご支援の賜と感謝申し上げます。



本年度から学部改組によって、「機能物質化学科」は「応用化学コース」と「生命化学コース」の理工学部理工学科のうちの2コースになるとともに、両コースを合わせた「化学部門」に名称が変更になりました。大学院の改組も同時に行われ、博士前期課程は「工学系研究科循環物質科学専攻」から「理工学研究科機能材料化学コース」に変更になりました。また、医農理工が融合した「先進健康科学研究科」が新設され、本コース卒業生は「健康機能分子科学コース」への進学が可能です。博士後期課程の改組も進んでいるところです。いずれの改組も、進路選択のミスマッチングや少子化などの対策に迫られてのことですが、学部・学科の存在意義が今後益々問われることとなります。名古屋大と岐阜大に代表されるアンブレラ方式による法人統合のように、大学自体の大きな変化が起こると思われれます。今後、同窓生・卒業生の皆様のご協力が益々重要になります。引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

物理学部門

部門長 船久保公一 教授

同窓会の方々の日頃からのご支援、ありがとうございます。今年度は学部・大学院修士課程共に大きな改組があり、特に学部は1年次に学部全体で共通の専門基礎教育を行うという変更がありました。物理学部門は少数精鋭で、1年次前期の物理学概説の全クラスを担当するという重責を負っております。数学と並んで物理学は理工学の基盤でありますので、様々な学習履歴を持つ全ての学生の学力の水準を高めて専門分野の科目を習得できるよう、担当教員全員で常時話し合いを持って教育に取り組んでいます。また先端の研究や技術開発に貢献できるよう学部・大学院を通じて専門教育を行っています。



学部卒業生（35名）の進路としては今年4月時点で18名が進学（佐賀大学12）、教員・公務員が5名、民間企業が11名です。進学については、他大学大学院への進学者が増加傾向にありましたので、今年度から定員を2割減としました。今後とも変わらぬご支援・ご指導をよろしく申し上げます。

機械工学部門

部門長 服部 信祐 教授

同窓生の皆様には日頃より多大なご支援を賜り、誠にありがとうございます。

今回は、本年4月から改組によって大きく変わりました機械工学部門のコース紹介をさせていただきます。

これまでの機械システム工学科は、改組により“機械エネルギー工学コース”と“メカニカルデザインコース”との2つのコースになりました。それぞれのコースにおける教育の根幹は“幅広い教養と機械工学分野の専門的な素養を持つ人材の養成”ですが、とくに機械エネルギー工学コースでは“再生可能エネルギーなどの高度エネルギー利用技術分野に強い機械工学技術者”を、またメカニカルデザインコースでは“先進的機器開発・生産などのモノづくり分野に強い機械工学技術者”を養成していきます。

今後とも同窓会とのつながりを大切にして、社会の幅広い分野で活躍する人材を多数輩出していきたいと思っていますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



電気電子工学部門

部門長 後藤 聡 教授

同窓生の皆様、日頃より電気電子工学部門をご支援頂き、誠にありがとうございます。部門の近況をご報告いたします。平成30年度は、電気電子工学科88名の卒業生のうち41名が大学院へ進学し、民間企業等へ39名、公務員へ5名就職しました。就職先は、電気電子関連の製造業をはじめとして、情報通信業、建設業、機械器具製造業、高校教員、国家・地方公務員と幅広い分野にわたっています。また、理工学部同窓会にご支援頂いております菱実会・理工学部広報賞に、電気電子工学科および電気電子工学専攻の学生は、のべ18名が表彰されています。

平成31年4月からの理工学部組織再編により、電気電子工学部門が担当する「電気エネルギー工学コース」と「電子デバイス工学コース」が始動しました。それぞれ、現代及び未来のあらゆる産業基盤を支える電気エネルギー工学とIoTや次世代情報通信技術を支える電子デバイス工学を教授し、ソフトウェアにも強い電気技術者やハードウェア技術者を育てるために、部門の教職員一同、鋭意、教育研究に取り組んでいます。



都市工学部門

部門長 山西 博幸 教授

2019年度の理工学部の大幅改組に伴い、1997年に創設された都市工学科は2つのコース（「都市基盤工学コース（主任：山西教授）」と「建築環境デザインコース（主任：帯屋教授）」）に改組し、新たな体制をスタートさせています。部門人事では、2019年2月に末次大輔准教授が宮崎大学工学部に教授として異動されました。学生の就職・進路状況では、平成30年度3月卒業生92名のうち、公務員19名、民間56名、進学16名、その他1名、大学院修了生24名のうち、公務員1名、民間16名、進学0名、その他7名、とそれぞれ進んでおります。就職希望者はほぼ全てできておりますが、大学院進学希望者は例年よりやや少ない状況でした。今後もしばらくは売り手市場となる中で、進学者も確保しつつ、質保証された優秀な学生を社会に輩出させるべく、引き続き教職員一同努力してまいります。最後になりましたが、毎年、入学式や卒業式を含む各種イベント開催に際し、穂屋下会長、小玉副会長のご出席をはじめ同窓会会員の皆様からのご支援を賜り、この場を借りて厚くお礼申し上げます。今後とも、会員の皆様のますますのご活躍を祈念しますとともに、本会発展へのご協力、新生・都市工学部門へのご支援をお願いいたします。



株式会社SA-GAを起業して

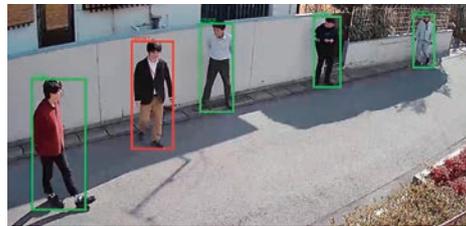
理工学研究科 理工学専攻 知能情報工学コース 1年
森山 裕鷹

今年の3月に佐賀大学理工学部知能情報システム学科を卒業した私は、今年の4月に、理工学研究科理工学専攻知能情報工学コースの修士課程1年生になりました。日進月歩のIT技術が私の専門分野です。人工知能やブロックチェーンなど、最先端のIT技術を用いて、様々な課題解決に取り組んでいます。より多くの人に我々のもつIT技術を届けたいという思いから、昨年9月に、佐賀大学発ベンチャー企業として「株式会社SA-GA」を起業し、社長になりました。地元企業と協力し、行方不明となった認知症



研究室のメンバーと

高齢者等を、人工知能を用いて探索するシステムを開発しました。このシステムは、介護に関わる人々の負担を軽減できると確信しています。これらの成果を、佐賀大学同窓会長賞という形で評価していただき、嬉しかったです。会社は、起業1期目で様々な困難がありました。これらの困難に直面した時に、佐賀大学にいる仲間が存在が大きく、とても恵まれた環境にいることを実感しました。佐賀大学の卒業生および佐賀大学の大学院生として、これからも最先端のIT技術を佐賀から発信し、社会貢献できるように努めます。現在、未来を見据えて新しいプロジェクトの準備をしています。佐賀大学の看板を背負う覚悟はできています。楽しみに見守ってください。



介護施設での実証実験の様子

卒業・修了生

「土木との出会い」

大場 義人(土木科・S49年卒業)

思い起こせば今から約50年前の高校3年生のある日、父親から何気なくもらった1枚の映画招待券。これが私の人生を決める1枚になるうとは当時思いもしなかった。それは地元大牟田の映画館で観た石原裕次郎主演の「黒部の太陽」。ともかく自分にとっては衝撃的な映画だった。黒部第四ダムの本体建設に使用する資材重機を輸送するためのトンネル工事を描いたものだ。映画では主役の石原裕次郎が工事の困難さを説明するためテーブルに置かれた割り箸を本州と見立てピンと「く」の字に折って「糸魚川―静岡構造線」の断層帯を説明するシーンは今でも鮮明に思い出すシーンの一つである。切羽からの鉄砲水、支保工の崩壊等々破碎帯での数々の問題点を解決し最終的にトンネルを開通させる。数々の男のドラマ。「格好いい」映画館を出た時の興奮はまだ私の脳裏に焼き付いている。当時、まだ将来どんな職業に就くかも決めていなかった私は「よし！俺は大学の土木科を出て建設会社に行くぞ！」と腹を決めた。ただ残念ながら現役では受験に失敗し浪人暮らし。ところが「人間万事塞翁が馬」翌年佐賀大学の理工学部土木科が新設されることになり、幸運にも入学できた。大学では第1期生なので土木の先

輩はいないし、全員が「自分達で佐賀大土木の歴史をつくるぞ」といった気概や団結力があつた。決して成績優秀な学生ではなかったが、新設土木科の1期生という事と、中学から大学まで柔道をやっていた体力を武器？に面接だけで希望の建設会社に入社できた。入社後は主に橋梁の技術者として国内外の大規模橋梁建設に従事した。ベトナムでは、一面吊りのPC斜張橋としては世界一のバイチャイ橋のプロマネとして、国内では地元有明海沿岸道路の矢部川を跨ぐこれもPC斜張橋では日本一の中央支間長を誇る矢部川橋の建設を現役最後の所長として務めた。土木学会からは「長年の間、国内外でPC橋梁施工技術の発展に貢献してきた。」ということで技術功労賞を頂いた。ここまで自分が土木屋を目指すきっかけから会社を退職するまでを足早に振り返ってみた。現実には映画の様に格好いいシーンはなかったかもしれないが、橋を架けた先々で知り合った多くの方々や佐賀大学で指導を受けた先生の方々、そして今でもそれぞれの道で活躍している同期の仲間存在は自分のかけがえない財産である。



平成30年度 理工学部キャリアデザインセミナー実施

理工学部キャリアデザインセミナー実施状況

理工学部同窓会主催

学 科	実 施 日	講 師・勤務先	世話人
数理科学科	平成30年12月18日(火) 理工学部6号館3階310講義室	塚本和広 (H21入・数理科学科) 株式会社 日本ビジネスエンジニアリング	市川尚志先生
物理科学科	平成30年12月7日(金) 理工学部1号館318講義室	林田秀俊 (H26入・物理科学科) NTT西日本株式会社 アドバンスソリューション営業部 自治体クラウド担当(静岡)	青木一先生
		大藤あゆみ (H22入・物理科学科) 株式会社 AQUAPASS 設計・開発グループ 開発	
知能情報システム学科	平成30年11月27日(火) 理工学部大学院棟302室	蒲原聡史 (H10入・知能情報システム学科) 佐賀県警察 科学捜査研究所	山下義行先生
		荒木直人 (H23入・知能情報システム学科) 株式会社SUMCO システム部	
機能物質化学科	平成31年1月9日(水) 理工学部9号館	秋山雅人 (H20入・機能物質化学科) 平井精密工業株式会社 熊本事業所 技術課 販売支援	富永昌人先生
	平成31年2月1日(金) 理工学部9号館	古谷泰幸 (H20入・機能物質化学科) 株式会社 GSユアサ LIB技術開発CT 第二技術部第二グループ	
機械システム工学科	平成30年11月21日(水) 理工学部大学院棟301室	齋藤善文 (H15入・機械システム) 株式会社 キーレックス 生産企画室 物流企画Gr	服部信祐先生
		羽立重信 (S55入・生産機械) 九州住電精密株式会社 取締役(技術部長兼務)	
電気電子工学科	平成31年2月8日(金) 理工学部6号館 多目的セミナー室	鎌田啓輔 (H20入・電気電子工学科) 株式会社 東芝 研究開発センター 機器試作部	高橋英嗣先生 山岡禎久先生
		木村優香 (H25入・電気電子工学科) 九州電力株式会社 大津配電事業所 設備建設グループ	
都市工学科	平成30年11月7日(水) 理工学部6号館1階 都市大講義室	COC+ 創造的工系キャリアデザインセミナー 松本啓志 (H26入・都市工学科) 松尾建設株式会社	川崎徳明先生
		徳淵涼太 (H20入・都市工学科) 公益財団法人 佐賀県建設技術支援機構 技術部企画情報課	

数理科学科キャリアデザインセミナー報告

数理科学科では、講師として1名のOBを招いて平成30年12月18日(火)理工学部6号館3階310講義室において実施された。

塚本和広氏(平成21年入学:株式会社日本ビジネスエンジニアリング)にシステムエンジニアの仕事の内容とチームワークの重要性、就職活動における大切なポイント、就職後の生活について、自らの経験を基に詳しく有意義な講演をしていただきました。自分達の先輩が社会で活躍している姿を見て、就職についての意識を高められたようでしたので、このセミナーは有益であったと思う。2~3年次の学生14名と、数理科学専攻の1年次の院生4名が参加した。



講演風景

平成30年度広報一覧 理工学部学生の広報活動への支援について

菱実会・理工学部広報賞一覧 2018年度前期

記事の日付	記事名	対象学生数	学 科	教員名
2018/3/12	電気電子工学専攻の学生が2017年IEEE福岡支部発表奨励賞を受賞	1	電気電子	豊田先生
2018/3/12	システム創成科学専攻の学生が2017年IEEE福岡支部学生研究奨励賞を受賞	1	電気電子	豊田先生
2018/4/27	電気電子工学専攻大学院生が国際会議にて受賞	1	電気電子	田中徹先生
2018/5/8	SSH事業「リサーチセミナー」を致遠館高校で実施	2	電気電子	和久屋先生
2018/5/21	佐賀市適応指導教室「くすの美」で大学院生らが理科実験教室を実施(1)	3	機能	長田先生
2018/6/19	都市工学専攻大学院生が「タイニーハウス小菅デザインコンテスト2018」にて尊重賞を受賞	1	都市	小島先生
2018/6/21	佐賀市適応指導教室「くすの美」で大学院生らが理科実験教室を実施(2)	3	機能	長田先生
2018/7/17	佐賀市適応指導教室「くすの美」で大学院生らが理科実験教室を実施(3)	3	機能	長田先生
2018/7/26	循環物質化学専攻大学院生3名が化学関連支部合同九州大会生物化学・農芸化学分野、物理化学分野、化学工学分野にて優秀発表賞等を受賞	1・2	機能	長田先生 成田先生
2018/7/26	循環物質化学専攻大学院生3名が化学関連支部合同九州大会電気化学部門で優秀研究発表賞を受賞	3	機能	富永先生
2018/8/8	インドネシア・スラバヤ工科大学とインド・ガンジーグラムルーラル大学から大学生・大学院生を受け入れ共同研究等を実施	2	機能	富永先生
2018/8/22	第37回分子病理学研究会はがくれシンポジウムにて大学院生が優秀演題賞を受賞	1	機能	成田先生
2018/8/22	循環物質化学専攻大学院生が平成29年度物理化学インターカレッジセミナーにおいて優秀ポスター賞と優秀講演賞を受賞	2	機能	成田先生
2018/8/22	循環物質化学専攻大学院2名が第68回コロイド及び界面化学討論会にてポスター賞を受賞	2	機能	成田先生
2018/8/22	循環物質化学専攻大学院生が九州支部高分子若手研究会・夏の講演会にてベスト質問賞を受賞	1	機能	成田先生
2018/8/22	循環物質化学専攻大学院生が第40回日本バイオレオロジー学会年会にて優秀ポスター賞を受賞	1	機能	成田先生
2018/8/29	機能物質化学科4年生が第29回九州地区若手ケミカルエンジニア討論会において優秀賞を受賞	1	機能	森貞先生
2018/9/4	「菱実会・理工学部広報賞」授賞式を挙行政	1	電気電子	後藤先生
2018/9/14	機械システム工学専攻大学院生がICT-Robot 2018においてBest Presentation Awardを受賞	1	機械	佐藤先生
2018/9/19	ICTまちづくり防災デザインに関する研究経過報告会を開催	3	電気電子	和久屋先生
2018/9/28	循環物質化学専攻大学院生が化学工学会第50回秋季大会において優秀ポスター賞を受賞	1	機能	森貞先生
		37		

菱実会・理工学部広報賞一覧 2018年度後期

記事の日付	記事名	対象学生数	学 科	教員名
2018/10/10	佐賀市適応指導室「くすの美」で大学院生らが、理科実験教室を実施(4)	3	機能	長田先生
2018/10/29	佐賀市適応指導室「くすの美」で大学院生らが、理科実験教室を実施(5)	3	機能	長田先生
2018/10/30	循環物質化学専攻大学院生が電気化学会若手の会でポスター優秀発表賞を受賞	1	機能	富永先生
2018/10/31	循環物質化学専攻大学院生がスラバヤ工科大学の国際セミナーで講演	1	機能	富永先生
2018/11/2	理工学部成績優秀者の国際交流活動組織「STEPS」による台湾での海外研修報告会を実施	11	電気電子	後藤先生
2018/11/21	佐賀市適応指導室「くすの美」で大学院生らが、理科実験教室を実施(6)	3	機能	長田先生
2018/11/16	システム創成科学専攻修士が平成29年電気学会 電子・情報・システム部門研究会奨励賞を受賞	1	電気電子	深井先生
2018/12/13	循環物質化学専攻大学院生がISChE2018においてbest Poster Presentation Awardを受賞	1	機能	森貞先生
2018/12/19	循環物質化学専攻大学院生、機能物質化学科4年生が、優秀ポスター賞及び優秀講演賞を受賞	2	機能	坂口先生
2018/12/19	機械システム工学専攻大学院生が優秀発表賞を受賞	1	機械	佐藤先生
2019/1/9	循環物質化学専攻大学院生2名が第64回ポーラログラフイー及び電気分析化学討論会で優秀研究発表賞を受賞	2	機能	富永先生
2019/1/9	インドネシアのスラバヤ工科大学とカリマンタン工科大学から大学生・大学院生を受け入れ科学技術研修等を実施	2	機能	富永先生
2019/1/22	致遠館高校スーパーサイエンスハイスクール「大学研修」を実施	4	電気電子	西山先生
2019/1/31	電気電子工学専攻修士が映像情報メディア学会優秀研究発表賞を受賞	1	電気電子	田中高行先生
2019/2/15	電気電子工学専攻大学院生が電子情報通信学会九州支部連合大会講演奨励賞を受賞	1	電気電子	西山先生
2019/2/19	機械システム工学専攻大学院生が計測自動制御学会九州支部奨励賞を受賞	1	機械	佐藤先生
2019/2/28	電気電子工学専攻大学院生がIEEE福岡支部学生研究奨励賞を受賞	1	電気電子	豊田先生
		39		

平成30年度 菱実会・理工学部広報賞

平成30年度の1年間で76名の学生に対して広報賞が授与された。

その内、平成30年9月1日(土)に開催された理工学部同窓会総会・懇親会の中で受賞式が挙行政され、受賞者を代表して馬場亮輔氏へ穂屋下(菱実会)会長より記念品が贈呈された。

第36回計測自動制御学会九州支部学術講演会学生発表交流会において優秀発表賞
馬場亮輔氏(工学系研究科先端融合工学専攻2年)



平成30年度 佐大同窓会長賞

この賞は佐賀大学同窓会長賞表彰規定に基づき、社会活動、課外活動、学術研究活動において、地域貢献が顕著であると認められた者などに同窓会長賞を授与し、その功績を称えるものである。

今回は文化教育学部・経済学部・理工学部・農学部の卒業生に賞状並びに副賞が贈られた。

理工学部：森 山 裕 鷹 氏（知能情報システム学科）

ブロックチェーンやディープラーニングなどの情報技術に関する学術研究活動において、査読付き英語論文1本（第1著者）、学会発表2件（第1著者/第2著者）、特許出願3件など、抜群の研究成果を上げている。さらに、これらの研究成果を活かして、佐賀大学発ベンチャー企業として、株式会社SA-GAを起業し、社長として地域の経済活動に貢献している。

特に、公益財団法人福岡県産業・科学技術振興財団の支援を受けて、複数の地元企業（株式会社シーズアース/合同会社ロケモAI/FabLab Saga）と株式会社SA-GAが連携して取り組んでいる。「人工知能による行方不明になった認知症者の探索システム」は、佐賀のような人口密度の低い地域において、介護にかかわる人の負担を減らせると期待されている。



第15回 佐賀大学理工学部学生表彰式



平成31年4月3日(水)理工学部1号館地域連携デザイン工房にて理工学部学生表彰式が行われた。

学生表彰は2年次及び3年次の学生で成績が優秀であると認められた学生に対し、各学科から2名、合わせて14名が表彰され、同窓会（菱実会）からは、図書カードが贈られた。

平成30年度理工学部学生表彰者

(敬称略)

学 科	新3年	新4年
数理科学科	三 角 英 豊	江 口 俊 博
物理科学科	山 下 青 空	岡 松 郁 弥
知能情報システム学科	高 柳 美 保	竹ノ内 宏 信
機能物質化学科	西 山 莉 瑚	庄 山 季 子
機械システム工学科	宮 崎 彬	中 川 裕 貴
電気電子工学科	梅 崎 広 大	齊 藤 健 人
都市工学科	田 中 静 流	中 野 滯

理工学部と理工学部同窓会との意見交換会

平成30年11月21日 佐賀大学菱の実会館にて、理工学部と理工学部同窓会との意見交換会を開催した。理工学部からは渡学部長ほか副学部長、学科長、事務長の計12名と、同窓会からは穂屋下会長ほか副会長、理事の計10名が参加した。

会長が、理工学部同窓会の主な活動（名簿作成状況、菱実会賞、佐賀大学同窓会長賞、支部の動き）を簡単に説明した。理工学部長は、理工学部学生の広報活動や理工学部学生表彰（理工学部長賞）について、2019年度からの理工学部入学生に対する組織についての説明があった。その後、出席者全員の簡単な紹介があり、学科の動きについて学科長から説明があった。最後に、全員でざっくばらんに懇談会を行った。



理工学部側



同窓会側

2018年度

佐賀大学学位記授与式

日時：平成31年3月26日(火)午前10時より

場所：佐賀市文化会館

理工学部 卒業

数理工学科	25名
物理科学科	35名
知能情報システム学科	62名
機能物質化学科	87名
機械システム工学科	108名
電気電子工学科	87名
都市工学科	91名
計	495名



2019年度

佐賀大学入学式

日時：平成31年4月3日(水)午前10時より

場所：佐賀市文化会館

理工学部 入学生

理工学科	526名
3年次編入学	18名
計	544名



菱実会の動き

2018
7月

2019
6月

2018. 7. 1 ○佐大同窓会会報「楠の葉」No.29 発行
 7. 1 ●理工学部同窓会 会報「菱の実」No.20 発行
 7. 6 佐賀大学校友会役員会／大学本部大会議室
 7.27 ○佐賀市役所支部総会・懇親会／ホテルマリタール創生
 7.27 佐賀大学就職支援ヒヤリング／理工学部同窓会・楠葉同窓会・農学部同窓会参加
 7.30 佐賀大学就職支援ヒヤリング／有朋会参加
 8. 2 ○佐大同窓会「支部強化部会」
 8. 8 ●理工学部同窓会「第2回 実行委員会」／佐賀大学菱の実会館多目的室
 8.10 佐賀大学オープンキャンパス
 8.23 ○佐大同窓会「巻頭言」練習／佐賀大学菱の実会館多目的室
 9. 1 ●理工学部同窓会「総会・記念講演・懇親会」／佐嘉神社記念館
 9.19 ○佐大同窓会「巻頭言」練習／佐賀大学菱の実会館多目的室
 9.29 ○神埼地区会総会・懇親会／菊水
 10. 4 ●理工学部同窓会「役員会・平成30年度実行委員会反省会」／佐賀大学菱の実会館多目的室・花雪
 10.11 ○佐大同窓会「第4回学習会・第3回代表役員会」
 講師：芸術地域デザイン学部長 小坂 智子先生
 10.13 ○筑後支部総会・懇親会／白柳荘（柳川市）
 10.17 ○キャリアデザイン／講師 石原紳一郎 氏（理工学部卒）（教育学部）
 10.17 ○佐大同窓会「巻頭言」練習／佐賀大学菱の実会館多目的室
 10.18 ○佐大同窓会「秋期定例役員会」・懇親会／佐賀大学菱の実会館多目的室
 10.20 佐賀大学「大学祭」～21日
 10.24 ○キャリアデザイン／講師 米谷 典子 氏（芸術地域デザイン学部）
 さがを創る大交流会／佐賀大学体育館・スポーツセンター
 10.29 ○佐大同窓会 会報発行部会「楠の葉」No.30編集会議
 10.31 ○キャリアデザイン／講師 岩田 将嗣 氏（経済学部）
 11. 3 ○大分支部総会・懇親会／大分アリストンホテル
 11. 7 ●理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」（都市工学科）卒業生2名
 11. 7 ○キャリアデザイン／講師 川久保 愛 氏（医学部）
 11. 9 ○長崎支部総会・懇親会／ガーデンテラス長崎ホテル&リゾート
 11. 9 ○諫早支部総会・懇親会／L&Lホテルセンリユウ
 11.10 ○関西支部総会・懇親会／神仙閣 大阪店
 11.10 ○佐世保支部総会・懇親会／レオプラザホテル佐世保
 11.11 ○東京支部総会・懇親会／新橋亭新館
 11.14 ●キャリアデザイン／講師 中島 和幸 氏（理工学部）
 11.15 ○佐大同窓会「巻頭言」練習／佐賀大学菱の実会館多目的室
 11.17 佐賀大学ホームカミングデー／佐賀大学経済4号館・美術館
 11.21 ●理工学部と理工学部同窓会との意見交換会／菱の実会館多目的室
 11.21 ●理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」（機械システム工学科）卒業生2名
 11.21 ○キャリアデザイン／講師 笹川 和朗 氏（農学部）
 11.23 ○伊万里地区会総会・懇親会／伊万里公民館
 11.24 ○第26回佐賀県青春寮歌祭／エスプラッツホール
 11.27 ●理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」（知能情報システム学科）卒業生2名
 11.28 ○キャリアデザイン／講師 秋山 紗貴子 氏（教育学部）
 12. 5 ○キャリアデザイン／講師 楠田 詞也 氏（経済学部）
 12. 7 ●理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」（物理科学科）卒業生2名
 12.12 ●キャリアデザイン／講師 長松 寛泰 氏（理工学部）
 12.13 ○佐大同窓会「第4回代表役員会」
 12.18 ●理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」（数理科学科）卒業生1名
2019. 1. 1 ○佐大同窓会会報「楠の葉」No.30 発行
 1. 9 ●理工学部同窓会「新年会・菱実会賞審査会」／同窓会事務局小会議室
 1. 9 ●理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」（機能物質化学科）卒業生1名
 1.13 大学入試センター試験
 1.19 ○鹿児島支部総会・懇親会／ホテル・レクストン鹿児島
 1.24 ○佐大同窓会「臨時代表役員会」／佐賀大学菱の実会館多目的室
 2. 1 ●理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」（機能物質化学科）卒業生1名
 2. 2 ○佐大同窓会「県内地区会世話人会」／佐賀大学菱の実会館多目的室
 2. 7 佐賀大学課外活動生活支援部門会議参加
 2. 8 ●理工学部同窓会支援「キャリアデザインセミナー」（電気電子工学科）卒業生2名
 2. 9 ○佐大同窓会 沖縄支部より 沖縄寮歌祭参加
 2.14 ○佐大同窓会「第5回代表役員会」
 2.24 佐賀大学前期日程入試 ～25日
 3. 5 ●理工学部同窓会「第3回役員会」／佐賀大学菱の実会館多目的室
 3.12 佐賀大学後期日程入試
 3.14 ○佐大同窓会 佐大教職員支部会総会・懇親会／佐賀大学菱の実会館多目的室
 3.26 佐賀大学学位記授与式（卒業式）／佐賀市文化会館（学部生・大学院生合わせて 1,617名）
 ○佐大同窓会「佐賀大学同窓会長賞」表彰 学位記授与式において文化教育学部 個人 早瀬 麻乃氏
 経済学部 団体「岩本ゼミ」代表 渋谷 佳那氏
 理工学部 個人 森本 裕隆氏
 農学部 個人 馬場 嵩一朗氏
 4. 3 佐賀大学入学式（学部生1,374人・大学院生272人・外国人留学生40人ら計1,686人）
 ●理工学部在学生表彰式各学科2名×7学科 計14
 4. 4 佐賀大学全学部新入生オリエンテーション
 4. 4 ○佐大同窓会会計監査（～5日）
 4. 4 ●理工学部同窓会会計監査（～16日）
 4.11 ●理工学部同窓会「生涯学習サイト編集会議」-1
 4.11 ○佐大同窓会「第1回代表役員会」
 4.18 ●理工学部同窓会「生涯学習サイト編集会議」-2
 4.18 ○佐大同窓会「春期定例役員会・懇親会」／佐賀大学菱の実会館多目的室
 4.25 ●理工学部同窓会「菱の実」No.21 編集会議／同窓会事務局 小会議室
 5. 9 ●理工学部同窓会「第1回 役員会」／佐賀大学菱の実会館多目的室
 5. 9 ●理工学部同窓会「生涯学習サイト編集会議」-3
 5.16 ○佐大同窓会「佐賀大学との意見交換会」／佐賀大学菱の実会館多目的室
 5.16 ●理工学部同窓会「生涯学習サイト編集会議」-4
 5.18 ○熊本支部総会・懇親会／メルパルク熊本
 5.23 ●理工学部同窓会「生涯学習サイト編集会議」-5
 5.23 ○佐大同窓会「巻頭言」練習／佐賀大学菱の実会館多目的室
 5.30 ●理工学部同窓会「生涯学習サイト編集会議」-6
 6. 6 ●理工学部同窓会「生涯学習サイト編集会議」-7
 6. 6 ●理工学部同窓会「第1回 実行委員会」／佐賀大学菱の実会館多目的室
 6.13 ●理工学部同窓会「生涯学習サイト編集会議」-8
 6.20 ●理工学部同窓会「生涯学習サイト編集会議」-9
 6.20 ○佐大同窓会「第2回代表役員会」
 6.26 ●理工学部同窓会「第2回 実行委員会」／佐賀大学菱の実会館多目的室
 6.27 ●理工学部同窓会「生涯学習サイト編集会議」-10

（○印は佐賀大学同窓会、●印は理工学部同窓会、無印は佐賀大学）

佐賀大学ホームカミングデーの開催

【期 日】 令和元年 11月16日(土) 午後～

【場 所】 佐賀大学本庄キャンパス

【目 的】 佐賀大学の卒業生に母校を訪問してもらい、母校の現状を知り、恩師、学友との再会と交流を深め、今後の母校への御理解と御支援をいただければ幸いです。

【対 象】 卒業年等にかかわらず、すべての同窓生と本学の名誉教授

【内 容】 大学の近況報告、講演、懇親会等
 （懇親会に御参加の場合、参加費が2,000円必要です。）

※詳しくは、佐賀大学校友会のホームページ（URL <https://koyukai.admin.saga-u.ac.jp/>）の「お知らせ」を御覧ください。

【申し込み・連絡先】

校友会事務局

E-mail:koyukai@mail.admin.saga-u.ac.jp

電 話：0952-28-8154

佐賀大学菱実会／生涯学習サイトの紹介

人生をもっと豊かに… チャレンジしてみませんか！

ITが限りなく発展し続ける昨今、様々な情報が溢れ、必要な情報が得難い環境になってきています。また、人生100年時代を見据えた経済・社会システム作りには、生涯キャリア支援がキーワードになりそうです。活力ある社会の発展のためには、高齢者であっても様々な資質・能力を取得し続け、仕事と生活のバランスを図れる社会作りが必要です。

佐賀大学理工学部同窓会（菱実会）では、同窓生が地域社会に関心を持ち続け、学習情報を共有できるシステムを構築するために何か支援できることはないかを模索してきました。そこで、地方創生やキャリアデザイン、防災などの学びに役立つような学びコースを同窓生に提供できるシステムの構築を試みることにしました。これを利用して、地域の現状や人生を振り返りつつ、これからどうあるべきか、考える機会が増えれば…と思っています。eラーニングによる学び形態なら、時間と場所を超えて情報や知識を共有できます。大学の授業ではありませんので単位取得はできませんが、多くの同窓生が楽しんで視聴していただけることを期待しています。

なお、本サイトはボランティア活動で構築しております。教材作成等を手伝っていただける方を募集しています。興味をお持ちの方はご協力をお願いいたします。

【コースの例】（コースは今後順次増やす予定）

○コース「大塚清吾と学ぶ『吉野ヶ里』」

カテゴリ「地方創生」： 吉野ヶ里遺跡の歴史的特性、特に中国や日本の他の地域との関係を学び、その知識等を佐賀の地方創生の在り方に活かすことはできないか。

○コース「久米島物語ワールド」

カテゴリ「地方創生」： 海洋深層水を海洋温度差発電と農業、水産業、工業などに複合的に活用する「久米島モデル」は、まさに地方創生モデルの一つです。

○コース「東日本大震災を伝える～語り部たちの証言」

カテゴリ「防災」： 3.11 東日本大震災は、東日本の太平洋側沿岸に未曾有の大災害をもたらした。語り部の方々の話を後世に伝えるとともに、防災教育教材としても利用していただきたい。



コースのトップ画面例



久米島で活かされた佐賀大学のOTEC研究成果

【視聴申請】

* 視聴にはログインのためのアカウント（ID）とパスワードが必要です。

* 視聴申請の詳細については、次のサイトをご覧ください。

URL： <https://www.sudream.org/llstudy/elearning/apply/>



※ 佐賀大学を訪問したいと思われる時は理工学部同窓会事務局TEL 0952-23-1253にご連絡下さい